

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称：Acetone, EM grade & Histology grade, 99.5% minimum  
製品番号：01921-1（メーカー略号: PSI）  
構成品名：Acetone, EM grade & Histology grade, 99.5% minimum  
会社名：コスモ・バイオ株式会社  
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署：製品情報部  
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619  
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B

生殖毒性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(消化管、中枢神経系、呼吸器)

#### GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(消化管、中枢神経系、呼吸器)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

#### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

慣用名又は別名：ジメチルホルムアルデヒド、ジメチルケトン、2-プロパノン

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
アセトン	< 100	67-64-1	2-542

※含有量 (%)はSDS作成時点の情報に基づいております。

詳細な情報につきましては対応するロットのCoAや試験成績書等をご覧ください。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分 アセトン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分 アセトン

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

#### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

#### 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(吸入もしくは飲み込んだ場合の症状)

眠気(嗜眠)、咳、眩暈

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

刺激性、眼刺激、結膜発赤

#### 応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する(眠気、めまいのおそれがある)。

#### 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

棒状放水

### 特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

#### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

#### 消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

### 環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

### 二次災害の防止策

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

##### (火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

##### (注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。  
常温で保存すること。

##### 安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

(アセトン)  
作業環境評価基準(2004)  $\leq$  500ppm

### 許容濃度

(アセトン)  
日本産衛学会(1972) 200ppm; 475mg/m<sup>3</sup>  
(アセトン)  
ACGIH(2015) TWA: 250ppm;  
STEL: 500ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系障害)

### ばく露防止

#### 設備対策

密閉された装置、局所排気装置を使用する。  
洗眼設備・安全シャワーを設けること。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること(有機ガス用防毒マスク)。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: ブチルゴム

##### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色

臭い：特有臭

融点/凝固点：-95°C

沸点又は初留点及び沸点範囲：56°C

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：2.2 vol %

爆発上限：13 vol %

引火点：(C.C.) -18°C

自然発火点：465°C

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：混和する

n-オクタノール/水分配係数：log Pow-0.24

蒸気圧：24 kPa (20°C)

密度及び/又は相対密度：0.8  
相対ガス密度(空気=1)：2  
粒子特性：該当なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

引火性の高い液体及び蒸気

### 化学的安定性

日光や空気にさらされると過酸化物質を生成し爆発性となる。

アセトンの入っている容器は、-9℃～15℃付近の温度で爆発性混合気を生成する。

### 危険有害反応可能性

蒸気は空気より重く、地面に沿って移動して、遠距離発火の可能性がある。

酢酸、硝酸、過酸化水素等の強酸化剤と接触すると、爆発性の過酸化物を生成することがある。

塩基性下でクロロホルムやブロモホルムと反応し、火災および爆発の危険をもたらす。

プラスチック類を侵す。

### 避けるべき条件

直射日光、炎、熱、火花、裸火、高温体、静電気との接触を避ける。

### 混触危険物質

酸化性物質

### 危険有害な分解生成物

炭素酸化物

---

## 11. 有害性情報

急性毒性：データなし

労働基準法：疾病化学物質

アセトン

### 局所効果

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2B, 眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

ラビット 角膜上皮の破壊4から6日で回復 (SIDS, 2002)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

### 発がん性

[成分データ]

[ACGIH]

(アセトン)

A4(2015)：ヒト発がん性因子として分類できない

### 生殖毒性

[製品]

区分 2, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

cat. 2; EHC 207, 1998

催奇形性：データなし

### 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

消化管、中枢神経系、呼吸器 (ATSDR Addendum, 2011)

誤えん有害性：データなし

その他の情報：吸入や接触、摂取により皮膚、眼、呼吸器系に刺激のおそれがある。

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(アセトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 >100mg/L/96hr (EHC207, 1998)

水溶解度

(アセトン)

100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2005)

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性

[成分データ]

(アセトン)

log Pow=-0.24 (ICSC, 2009)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1090

品名(国連輸送名)：アセトン  
国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3  
容器等級：II  
指針番号：127

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を  
確実にを行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類) アセトン

危険物 アセトン

国内規制がある場合の規制情報

消防法の規定に従う。

船舶安全法：引火性液体類 分類3

航空法：引火性液体 分類3

---

## 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤 アセトン

名称等を表示すべき危険/有害物 アセトン(別表第9の17)

名称等を通知すべき危険/有害物 アセトン(別表第9の17)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物(-30℃ ≤ 引火点 < 0℃)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法

危険物 第4類 引火性液体第1石油類水溶性液体 危険等級 II(指定数量 400L)

化審法：非該当

麻薬及び向精神薬取締法：麻薬向精神薬原料 アセトン(50%を超えるもの)

---

## 16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版(2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

職場のあんぜんサイト

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ  
て改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取  
扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は  
当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品  
の性能について何ら保証するものではありません。